

# 7月・8月の管理ポイント

当社Webサイトにて  
バックナンバー掲載中

<http://www.tomo-green.com/>

夏期は排水管理が重要

## レボ (REVO)

夏期は、暑さによる散水のし過ぎや降雨などにより土壌の水分が過剰になりがちです。過剰な水分は根を痛め根上りさせ、高温、乾燥、過湿など夏期の様々なストレスを乗り越えられない脆弱な芝になりがちです。レボ処理で生育しやすい土壌環境（過剰な水を排出、気相を増やす、毛管水を広範囲に繋げる）を作り、ストレスに強いしっかりとした芝を育てましょう。レボを定期散布しておく、芝が生育しやすい環境を維持させることができ、より効果的です。

使用量：2ml/m<sup>2</sup>/月 散布水量：200ml~500ml/m<sup>2</sup> 散布回数：1ヶ月に1回~2回

## レボキャンペーン中！

キャンペーン期間中にレボをご購入頂いたゴルフ場様に

### 3ℓ計量カップを1個プレゼント

更に、ご購入累計10ケース毎に計量カップを1個プレゼント

キャンペーン期間：2017年4月1日~2017年10月31日



肥料をより効率的に

## グリーンシナジー

グリーンシナジーは米国アクアトロールス社のシナジーテクノロジーを使った浸透剤です。シナジーテクノロジーとは、芝生に施用した資材や肥料を根圏に導き、効率よく植物に吸収され利用されることで、資材や肥料の溶脱を低減し、利用効率を高める界面活性剤の特許技術です。資材や肥料との相溶性が高く、相乗効果（シナジー）をもたらします。

使用量：1-2ml/m<sup>2</sup>/月 散布水量：100ml-1ℓ/m<sup>2</sup> 使用方法：資材の散布時にタンクミックス

土壌中の有害物質除去に

## 光合成細菌

光合成細菌は硫化水素やメルカプタンなどの有害物質を除去するだけでなく、植物や他の有用微生物の餌となるアミノ酸やATP、ADP（高エネルギーリン酸化合物：補酵素）などを分泌する微生物です。また、土壌中の二酸化炭素の増加を抑えるため、酸欠状態の改善に効果を発揮します。

使用量：1~2ml 1ℓ/m<sup>2</sup>散布 月1~2回

強光ストレスから芝生を守る

## インターセプト

梅雨明け後の強すぎる太陽光は、ベントグラスにとって過剰であり、高温ストレス、水ストレスと重なりベントグリーンのクオリティを低下させます。インターセプトは、過剰な可視光と紫外線をカットし強光ストレスから芝生を守ります。また、インターセプトの青味がかかった緑色は、弱ったベントグリーンを美しく自然にカバーします。

使用量1000~2500倍 散布水量100-500ml/m<sup>2</sup> 散布間隔7-10日

サッチ層の除去には…

## サッチ・マネージャー

本剤は、自然界に存在する微生物の中からサッチ成分に対して優れた分解能力のある16種類の有用菌を選抜した微生物資材です。製剤1g当たり約400億個の菌が配合されておりますので、土壌中でも安定した効果が期待できます。ラフ・FWは低価格のサッチ・マネージャー、殺菌剤を多用するグリーンには酵素剤サッチ・リムーバーがお勧めです。

サッチ・マネージャー（微生物資材）使用量：ラフ・FW0.1~0.2g/m<sup>2</sup> グリーン0.5g/m<sup>2</sup> 散布水量0.2~0.5ℓ/m<sup>2</sup>  
サッチ・リムーバー（酵素資材）使用量：1~2g/m<sup>2</sup> 0.5ℓ/m<sup>2</sup>散布 使用回数：月1~2回

害虫発生にあわせて

## スティンガーフロアブル

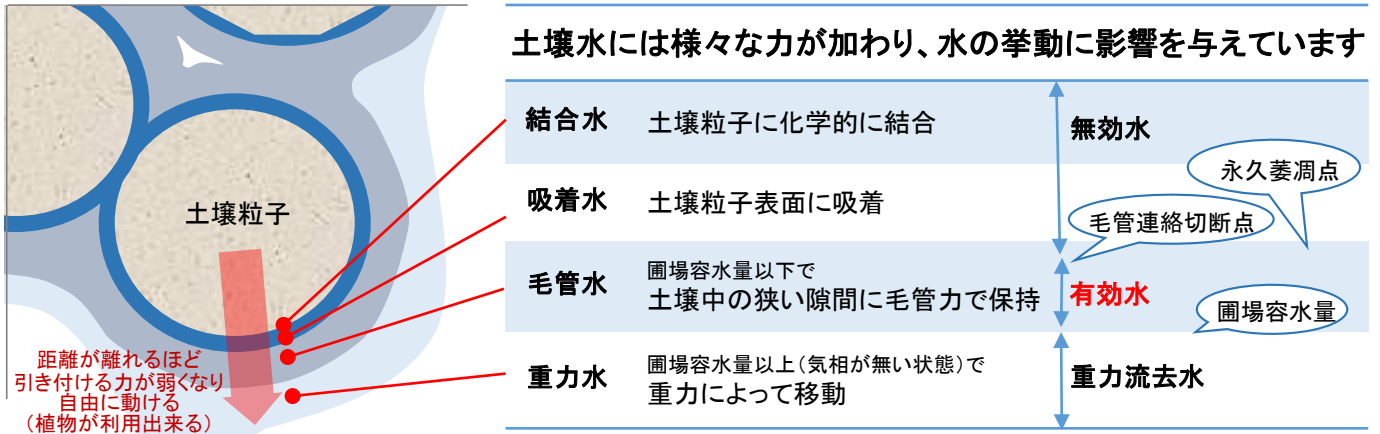
7月8月は、スジキリヨトウ・シバツトガ・タマナヤガの重要な防除シーズンです。特に、鱗翅目害虫は発生ピークが長く、数種類で混在して芝生を食害するので、殺虫剤のローテーション散布が必要です。スティンガーフロアブルは、グリーンで1ヵ月、ラフ・FWで2ヶ月以上の効果が期待できるので、ローテーション散布の基幹剤としてご使用いただけます。

使用量：スジキリヨトウ0.035ml/m<sup>2</sup>（水量50-200ml） シバツトガ、タマナヤガ0.05ml/m<sup>2</sup>（水量50-500ml）

# 有効水 (植物が利用できる水) を再確認

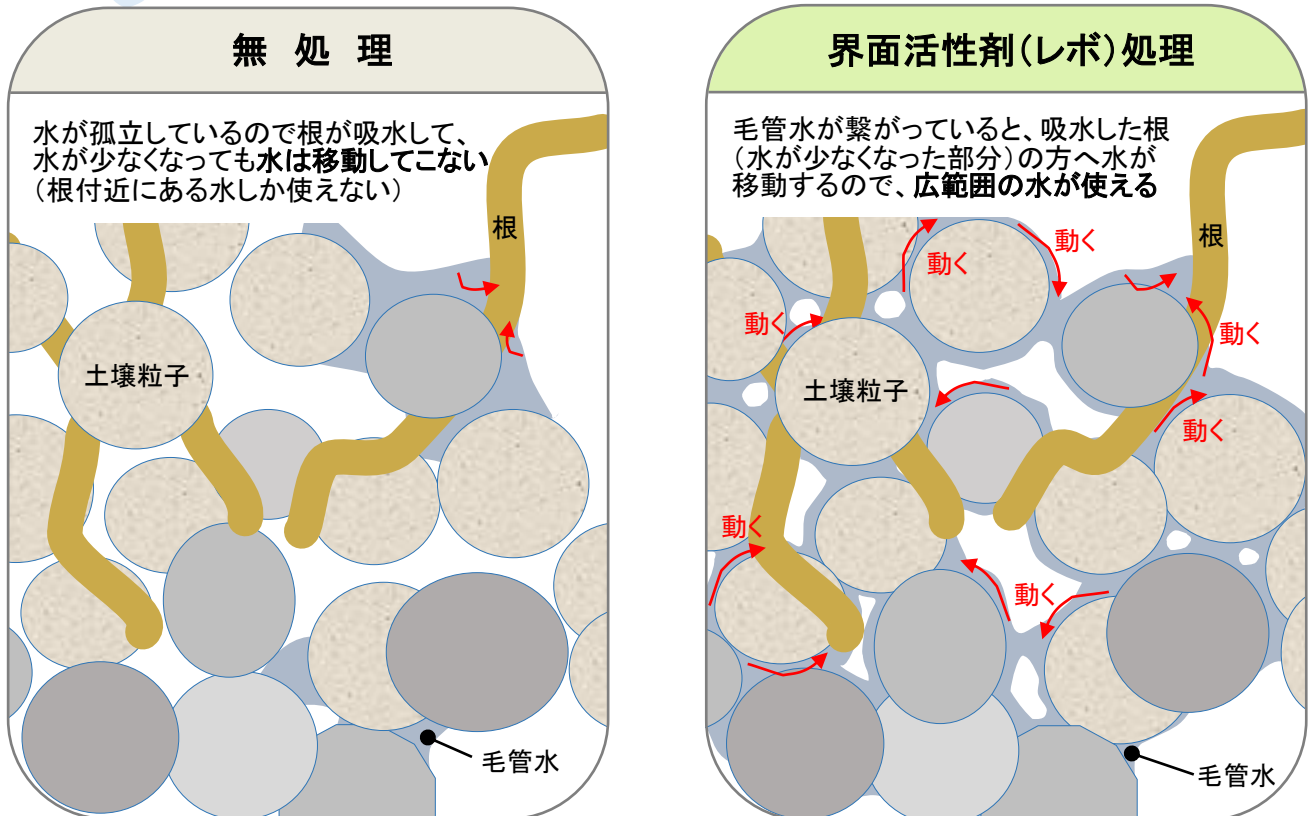
夏場は過湿や乾燥などの水ストレスで、芝の根がダメージを受けやすいシーズンです。土壤水の動きを再確認し、芝の根が生育しやすい土壤水分環境を整え、水ストレスを出来る限り軽減しましょう。

## ● 土壤水の中で植物が利用できる水(有効水)は？



植物が利用できる水(有効水)は、「毛管水」のみです

## ● 界面活性剤を処理すると、毛管水を無駄なく利用できます



界面活性剤を上手く活用し、土壤水分環境を整え  
厳しい夏期を乗り越える準備をしましょう

注)界面活性剤によって土壤水の状態は変わります。環境にあった界面活性剤を選択してください。